

大会注意事項

競技について

- 1、(公財)日本スポーツ協会が制定するスポーツ憲章ならびに(公財)全日本軟式野球連盟の当該年度競技者必携を遵守し、球場内外を問わずマナーに十分留意すること。
- 2、試合回数は、7回戦とする。
- 3、春季大会は試合開始後1時間30分を、秋季大会は試合開始後1時間20分を、決勝戦は試合開始後1時間50分を経過した場合は新しいイニングに入らない。
- 4、DH制(指名打者ルール)を採用する。
- 5、**野球ねっとの登録名簿**の追加、変更、背番号の変更は、**準決勝および決勝戦を除き**認める。変更が生じた場合は、試合開始前に大会本部(メンバー表チェック時)へ**野球ねっとの変更承認済の登録名簿**を提出する。
- 6、試合時間内の延長戦は行なわず、**同点の場合は最終出場者9名によるジャンケンで決める。ただし、決勝戦はタイブレーク(無死1・2塁、継続打順)を1回行い、勝敗が決しない場合は、最終出場者9名によるジャンケンで決める。**
- 7、得点差によるコールドゲームは、**決勝戦を除き全試合3回以降10点差、また5回以降7点差**とする。
- 8、タイムの制限・・・捕手を含む内野手が、一試合に投手のところに行ける回数は3度までとする。なお、タイブレークの場合は、1度とする。攻撃側のタイムも同様とする。
- 9、前の試合終了20分後に、次の試合を開始することがあるので、早めに到着すること。
- 10、試合開始時刻に出場者全員(10名以上)が揃っていること。ただし、当日9名しか選手が集まらなかった場合でも試合に出場することを認める。
- 11、抗議権を有する者は、**監督と当該プレーヤーのうち1名**とする。
- 12、ストライク、ボール、アウト、セーフ、フェア、ファウルボール等の判定に対する抗議は許されない。
- 13、塁上の走者及び、コーチボックスから、球種など打者に知らせるためのサインを出すことを禁止する。
- 14、攻守交代は、敏速に駆け足で行なうこと。
- 15、守備が終わり最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。
- 16、内野手間の転送球については、制限しないものとする。ただし、天候不良、日没等やむを得ない場合はこの限りではない。
- 17、花小金井グラウンド「A・B面本部前」の、次打者席(ネクスト・バッターズサークル)での素振りには十分注意すること。
- 18、選手がむやみにベンチの外に出ることを禁止する。
- 19、ファウルボールは、ベンチサイドで処理すること。
- 20、打者が頭部にヒットバイピッチ(デッドボール)を受けたときは、球審は臨時代走(**投手を**

- 除く) の処置を行なう。また、塁上の走者が負傷した場合で一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断したときは臨時代走 (投手を除く) の処置を行うことができる。
- 2 1、試合中に選手が医療機関に掛かる怪我をした時は、試合終了時に本部へ申し出ること。
 - 2 2、監督者会議で説明、決められた事項はチーム全員が守ること。
 - 2 3、登録及び試合において、不正を行ったチームは、連盟規約により処分を行う。

用具・装具について

- 1、背番号は監督が「30番」、主将が「10番」とし、他の選手は0番から99番以内とする。(00番は認められない)
- 2、ユニフォームの胸のチーム名は、日本字またはローマ字で表示し、チーム名の代わりにマークをつけることができる。全員統一すること。
- 3、ユニフォームの左袖には、「東京」をつけるが、支部名の「千代田」(いずれもローマ字可)の文字をつけることができる。なお、右袖には社章・商標・チームのマスコット等をつけることができる。
- 4、ユニフォームの背中に選手名を付ける場合には、全員が背番号の上にローマ字で、姓のみとすること。同姓がいる場合には、名の頭文字を追加可。
- 5、ユニフォーム、帽子、アンダーシャツ、ストッキング、ベルトについては、全員同色、同形、同意匠のものを着用していることが試合中確認できること。
- 6、スパイクの色は制限しない。
- 7、捕手は、**JSBB 公認**のレガース・プロテクター、SGマークのついた **JSBB 公認**のマスク(スロートガード付) **及び**捕手用ヘルメット、ファールカップを着用のこと。
打者・次打者・走者及びベースコーチは、ヘルメットを着用のこと(ベースコーチを除き、いずれも公認された両側か片側にイヤフラップの付いたもの)。
捕手用ヘルメットとマスクの一体製品は **JSBB 公認のものに限り**使用可とする。
投球練習をする際は、捕手は必ずSGマークのマスクを着用すること。
- 8、花小金井運動施設では、ベンチに備え置いた5本の金属バットを使用する。(滑り止めは使用不可) チームが保有する木製バットは使用を認める。
- 9、借り上げグラウンドでは「高反発バット」の使用を認める。後付けフレアグリップは、専用テープ等で完全に固定・被覆されたなだらかな形状のものであれば使用を認める。
- 10、素振り用リング・鉄パイプは、グラウンドに持ち込みを禁止する。
- 11、サングラスは、本部の承認なしに使用できる。ただし、投手はミラーレンズを使用できない。また、野手がサングラスを帽子の底の上にのせることを認める。
- 12、試合中、ガムを噛むことを禁止する。
- 13、季節を考慮し、ネックウォーマー (色の規制無し) の使用を認める。
- 14、**アームスリーブ**を投手が着用する場合は、アンダーシャツと同色で両腕に着用すること。
なお、野手は色の規制は無く、片腕でも良い。

緊急の場合の連絡について

- 1、試合当日雨天等の場合、各チームの責任者は連盟のHPで確認または直接 花小金井運動施設（花小金井グラウンド）へ問い合わせ、開催または中止の決定を確認し全員に連絡すること。
【 電話は、042-461-2291 】
- 2、開催または中止の決定は、午前の試合は**午前5時30分までに**、午後の試合については**午前9時30分まで**に行う。
- 3、試合中止となった場合、後日連盟のHPで日程変更の情報を提供する。
連盟から個々のチームへの変更通知はしない。
- 4、試合を棄権する場合には、**試合前々日までに連盟ホームページの「お問い合わせ」の「棄権の連絡」**によって、投稿フォームから棄権の連絡をすること。また、試合前々日を過ぎてしまった場合は、**棄権連絡担当 磯野（TEL 090-5322-8460）**まで連絡すること。いずれの場合も対戦チームの連絡責任者の連絡先をお知らせしますので、対戦チームに**必ず電話連絡を行い、その結果を上記連絡担当（磯野）に連絡すること。**
- 5、試合当日の棄権は、相手チームに迷惑をかけるため絶対にしないこと。

花小金井運動施設（グラウンド）の使用について

- 1、駐車スペースの関係で、大会用に配布された「駐車証」のある車両（**1チーム3台まで**）以外駐車できません。
入場の際には、係員に駐車証を提示すること。
駐車証にはチーム名を記入し、車外から確認できるよう必ずダッシュボードに置くこと。
（一般車両と見分けが付くように）
尚、施設の敷地内から一般道に出る時は、分散通行をお願いします。（一般道を通行する車両の妨げにならない様に配慮願います。）
- 2、ユニフォームの着替えはクラブハウス1階。スパイクはグラウンド内ベンチで履き替えること。グラウンド外でのスパイク使用は厳禁します。
- 3、喫煙は、クラブハウス前の灰皿の置いてある場所で行うこと。その他の場所及び試合中は禁煙です。
- 4、空き缶、空き瓶、ごみ等は、必ず持ち帰ること。
- 5、野球用具の忘れ物が多くなっているので注意すること。
- 6、トイレは、グラウンド内のものと、クラブハウス1階を使用すること。

以上